

特許出願技術動向調査 ー繊維強化プラスチックー
Patent-based Technology Trend ー Fiber Reinforced Plastics ー
特許庁 審査第三部素材加工（樹脂加工） 関口 貴夫

Resin Processing sub-div., Patent Examination Dept., Japan Patent Office, Takao Sekiguchi

E-mail: sekiguchi-takao@jpo.go.jp

特許庁は、平成 28 年度に「繊維強化プラスチック（以下 FRP という）」をテーマとした特許出願技術動向調査を実施した。特許出願技術動向調査は、特定の技術について、特許出願の動向を中心に調査し、市場環境、政策動向、研究開発動向などの補足情報を加え、日本の技術競争力、産業競争力についてまとめ、日本の競争優位性拡大のため日本が取り組むべき課題を整理し、日本が目指すべき研究開発、技術開発の方向性を提言することを目的とした調査である。

今回の調査では、FRP に関する技術分野において、海外市場、特に米欧市場での事業展開の重要性が認識されていることから、出願先国として日本、米国、欧州の 3 か国（地域）、出願年（優先権主張年）として 1985 年～2014 年の特許文献を対象に調査を行った。

●本調査の結果概要

- (1) FRP は、航空機、自動車向けを中心に今後とも市場拡大が期待される有望な材料である。
- (2) 2011 年以降は日米欧からの出願件数は増加傾向で推移している。
- (3) 全体では、日本国籍出願人が最も多くの出願を行っており、全体の 55.3%を占めている。中国、韓国から日米欧への出願は非常に少ない。
- (4) 成形方法では、プレス・積層加圧、フィラメントワインディング、レジントランスファー成形に関する出願が多い。
- (5) 炭素繊維強化プラスチックによる航空機や自動車等の「輸送機器」への出願件数が、2004 年以降増加傾向で推移している。
- (6) 出願件数上位 10 位以内に日本の企業が 7 社ランクインしており、炭素繊維、樹脂、自動車、重工業等のメーカーが含まれている。日本企業において繊維強化プラスチックの技術開発が活発に行われている。

本発表では、平成 28 年度特許出願技術動向調査「繊維強化プラスチック」の内容の一部を、特に炭素繊維強化プラスチックに関連する調査結果に注目しつつ紹介する。

なお、本調査の概要は特許庁ホームページに掲載されている（<https://www.jpo.go.jp/shiryou/gidou-houkoku.htm>）。